

6月19日(水) 18:30~

会場：Zoom 及び国労会館大会議室



6月は水曜日となります。
ご注意ください。

誰でも参加できます。
Zoomでの参加の方は
前日までに連絡ください。

第188回定例研究会

奪われてきた声を取り戻す —主権者教育の動向と自治の担い手について—

報告：荒井 文昭 氏（東京都立大学 教授）

これからの企画

◆第189回定例研究会

日時…7月18日(木) 18:30~

場所…国労会館会議室&Zoom

内容…「未定」

報告…田中 志保 氏

(シングルペアレント101代表)

◆第12回定期総会&記念講演

日時…8月10日(土) 13:00~

場所…静岡労政会館&ZOOM

記念講演…「今日のアメリカ労働運動
から何を学ぶのか？
～アメリカ格差社会と
ストライキを題材に～」

報告…伊藤 大一 氏

(大阪経済大学 准教授)

高校生政治活動禁止の通達

日本における自治的活動は現在、後退していると言わざるを得ないでしょう。労働組合の推定組織率をみても、現在は16.3%にまで低下しています(厚労省2023年12月発表)。しかしその推移をみると、1960年から1975年までの約15年間は30%台の前半で推移していたことがわかります。それがほぼ一貫して減少に転じたのは、1976年からとなっています。

この組合組織率減少の原因には1969年の高校生政治活動禁止通達が影響している、とわたしはとらえています。今回の報告では、主権者教育の動向なども踏まえながら、自治の担い手について考えます。

荒井文昭「奪われてきた声を取り戻す」『住民と自治』2024年3月

(<https://www.jichiken.jp/chokugen/0038/>)

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号(静岡県評内)

静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp

ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>